

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第16回）
議事要旨

日時 2013年4月2日（火）18:30-21:00

場所 日本学術会議 5-C（1）会議室（5階）

出席者 荒川委員長、松沢副委員長、長野幹事、伊藤委員、今田委員、岩本委員、大隅委員、岡田委員、田中委員、永原委員、樋口委員

陪席 日本学術会議事務局（石原参事官、守屋事務官）

配布資料

- (1) 資料1 前回議事要旨（案）
- (2) 参考1 委員名簿

議題

※審査・評価に関する審議については非公開とすることが荒川委員長から提案され、了承された。

1) 前回議事要旨（案）の確認

前回議事要旨の確認を行い、原案通りに了承された。

2) 公募結果報告と今後の方針

- ・ 第164回総会（2013年4月2日-4日開催）で荒川委員長より「第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランについて」の報告が行われた。その中で、2013年3月末日で締め切られた学術大型研究計画の公募について、応募件数（総数、部別、分野別、日付別）などがパワーポイントを用いて紹介された。また、応募件数等のデータは速報値であり、応募要件が不備あるいは多重に応募されている提案も含めたため、件数は確定したものではないことが説明された。
- ・ 重複や要件の精査の他に、応募書類に誤字等と思われる記載のある提案については提案者に連絡を取り、提案を修正し再提出することを認める事とした。
- ・ 審査・評価プロセス（案）について議論が行われた。
 - ① 審査・評価を担当する組織
 - i) 学術の大型研究計画検討分科会（以下、本分科会）
 - ii) 分野（部）別大型研究計画評価分科会（以下、評価分科会）
 - ② 評価分科会の構成
 - i) 評価分科会は、8-10名程度の会員・連携会員で構成。
 - ii) 評価分科会委員長は、評価分科会において互選で選出するが、原則として関係分野別委員会委員（部）長が務める。ただし、本人が提案者もしくは推薦者である場合には、別の委員を選出する。
 - ③ 利益相反、守秘義務について
 - i) 評価分科会委員自身が提案者もしくは推薦者になっている提案については、評価に関与しない。
 - ii) 本分科会委員、評価分科会委員、日本学術会議事務局関係者には、提案の内容、評価結果について守秘義務が課せられる。
 - iii) 本分科会および評価分科会においては、提案の個別評価に関する審議は非公開とする。

3) 次回の本分科会について

次回の本分科会は改めて調整する事とした。

以上